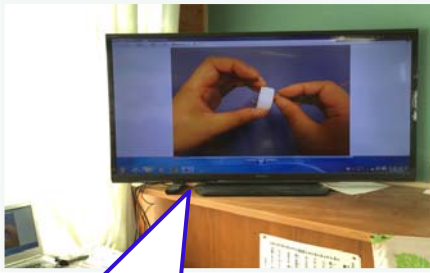


ICF大分モデルで検討する合理的配慮



細かな仕方がわかりやすいように拡大映像



視覚的な情報を受け取りやすい子供への約束



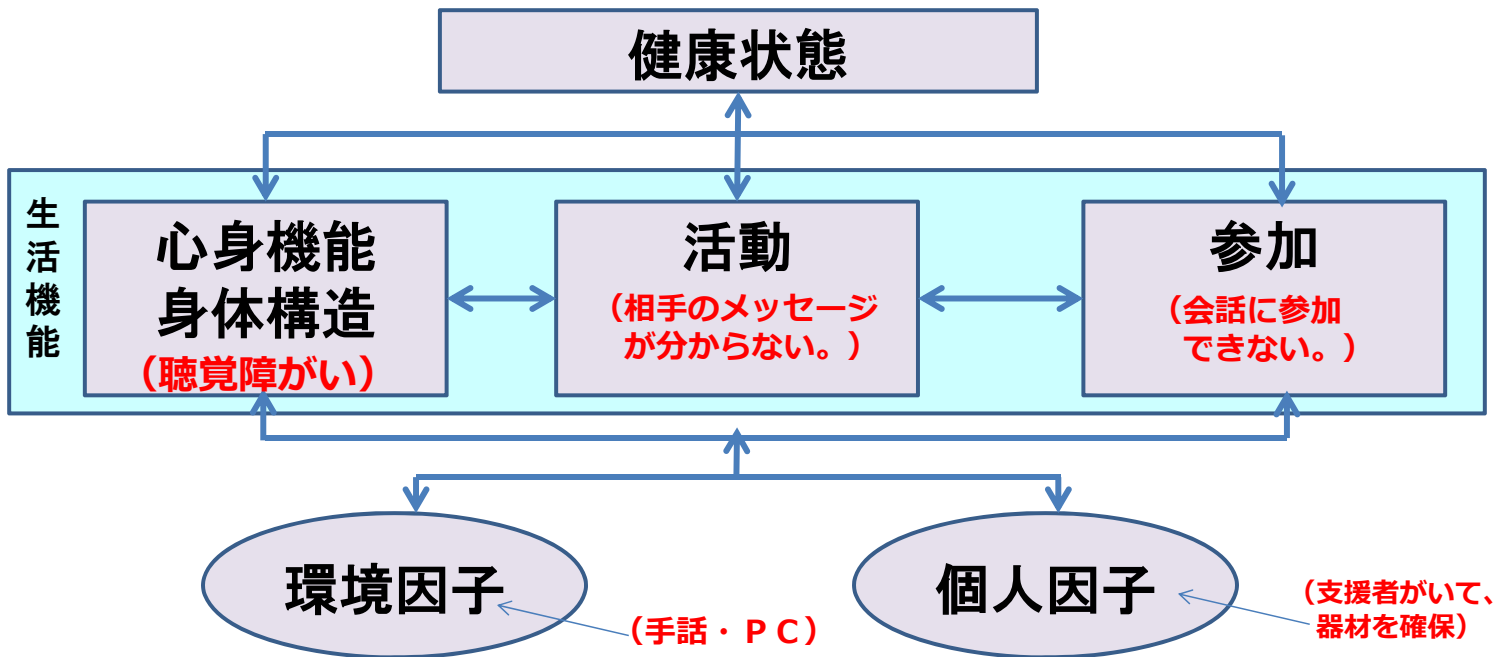
姿勢を保持しやすいように専用のすべり止めマットを使用

- 「合理的配慮」は新しい概念
 - 本特別委員会において、障害者の権利に関する条約の理念を踏まえた障がいのある子どもに対する「合理的配慮」の観点について整理
 - 学校教育においてこれまで行われてきた配慮を、今回、「合理的配慮」の観点として改めて整理
- 共生社会の形成に向けたインクルーシブ教育システム構築のための特別支援教育の推進(報告)H24.7

ICFの考え方

大分県のモデル事業ではWHO（世界保健機関）が採択しているICF（国際生活機能分類）を活用したアセスメントを提案しています。

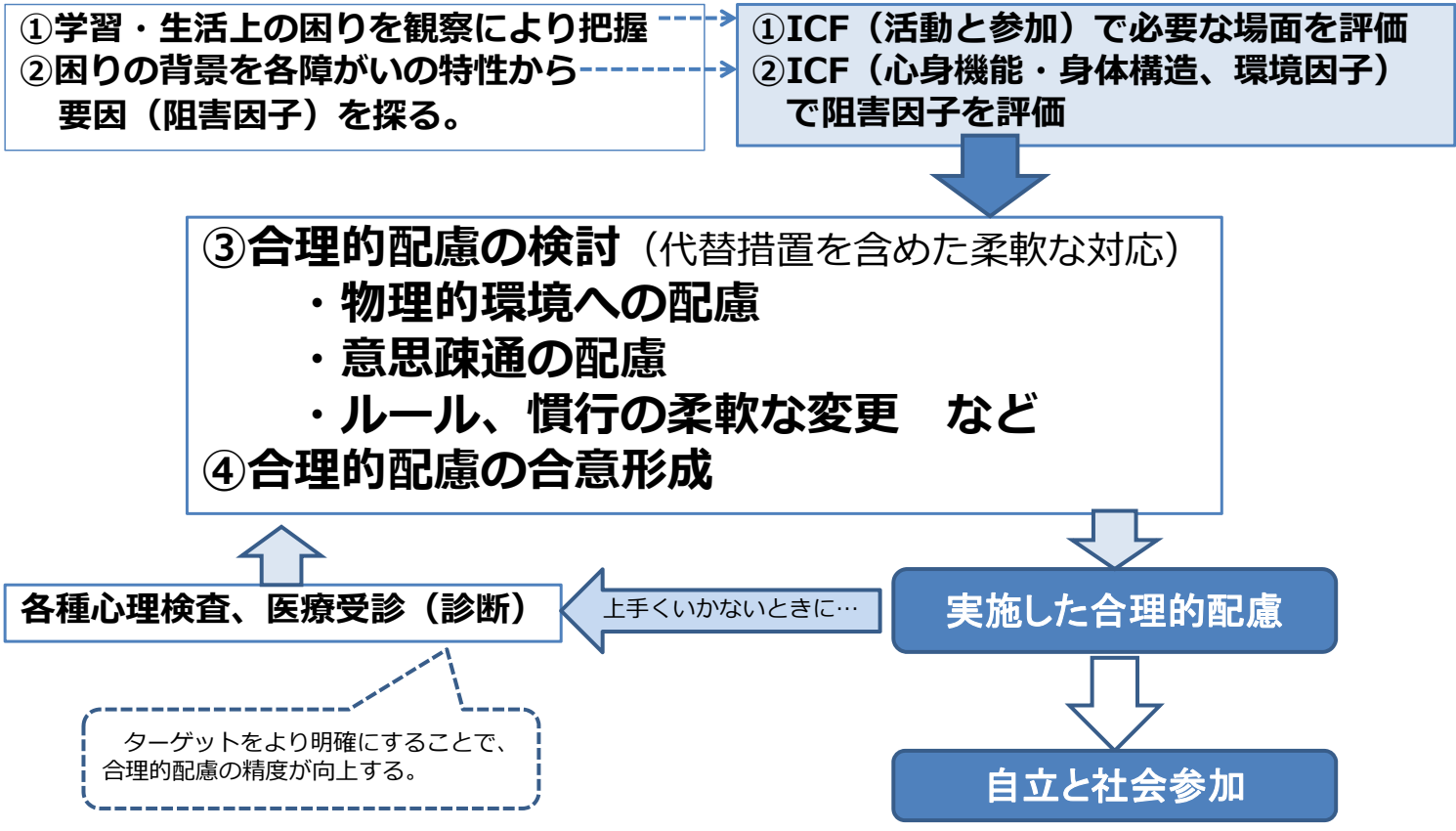
* ICFは人間の生活機能と障がいに関する状況を記述することを目的とした分類
例) 食事：噛む、飲む、はし等の使用、 マナーなどの項目から成り立つチェックリスト



【障がいの要因に、環境因子や個人因子が影響している例】
聴覚【機能に】障がいのある子どもに、手話通訳やPCを活用（環境因子を整える）することで、相手のメッセージを理解し会話に参加できる（活動と参加の向上）ようになる。

★環境も障がいの阻害要因→社会モデルの考え方

活動参加の状態と阻害因子の把握



ICF関連図ワークシートの活用(生徒指導にも応用可能?)

合理的配慮検討のためのICF関連図ワークシート

作成年月日	平成28年〇月〇日	受講者	〇〇〇〇小学校 校内委員会
参加者	校長、教頭、特別支援教育コーディネーター(〇〇教諭)、主幹教諭、特別支援学級担任(〇〇教諭)、文芸学級担任(〇〇教諭)、保健師、家庭実習担任員		

当面の課題	環境因子	評価点	現在の状況(促進因子を含む、物理的環境や社会的環境)
学	b125 学級・授業	-	授業の進め方が、児童の理解を促すための工夫がなされていない。授業の進め方が、児童の理解を促すための工夫がなされていない。
学	e130 学級・授業	-	学級・授業の進め方が、児童の理解を促すための工夫がなされていない。学級・授業の進め方が、児童の理解を促すための工夫がなされていない。
学	e350 家庭・家族	-	家庭・家族の状況が、児童の理解を促すための工夫がなされていない。家庭・家族の状況が、児童の理解を促すための工夫がなされていない。
学	e360 その他の専門職	-	その他の専門職の状況が、児童の理解を促すための工夫がなされていない。その他の専門職の状況が、児童の理解を促すための工夫がなされていない。

当面の課題	心身機能・身体構造	評価点	現在の状況(活動と参加)
学	b110 意識機能	-	意識機能の低下が、児童の理解を促すための工夫がなされていない。意識機能の低下が、児童の理解を促すための工夫がなされていない。
学	b130 認知・記憶機能	-	認知・記憶機能の低下が、児童の理解を促すための工夫がなされていない。認知・記憶機能の低下が、児童の理解を促すための工夫がなされていない。
学	b134 聴覚機能	-	聴覚機能の低下が、児童の理解を促すための工夫がなされていない。聴覚機能の低下が、児童の理解を促すための工夫がなされていない。
学	b140 注意機能	-	注意機能の低下が、児童の理解を促すための工夫がなされていない。注意機能の低下が、児童の理解を促すための工夫がなされていない。
学	b455 運動制御機能	-	運動制御機能の低下が、児童の理解を促すための工夫がなされていない。運動制御機能の低下が、児童の理解を促すための工夫がなされていない。
学	b510 摂食機能	-	摂食機能の低下が、児童の理解を促すための工夫がなされていない。摂食機能の低下が、児童の理解を促すための工夫がなされていない。
学	b152 運動機能	-	運動機能の低下が、児童の理解を促すための工夫がなされていない。運動機能の低下が、児童の理解を促すための工夫がなされていない。
学	b164 高次認知機能	-	高次認知機能の低下が、児童の理解を促すための工夫がなされていない。高次認知機能の低下が、児童の理解を促すための工夫がなされていない。
学	b126 気質と人格の機能	-	気質と人格の機能が、児童の理解を促すための工夫がなされていない。気質と人格の機能が、児童の理解を促すための工夫がなされていない。
学	b210 視覚機能	+	視覚機能の向上が、児童の理解を促すための工夫がなされている。視覚機能の向上が、児童の理解を促すための工夫がなされている。
学	b270 聴覚機能	+	聴覚機能の向上が、児童の理解を促すための工夫がなされている。聴覚機能の向上が、児童の理解を促すための工夫がなされている。
学	b265 聴覚	-	聴覚機能の低下が、児童の理解を促すための工夫がなされていない。聴覚機能の低下が、児童の理解を促すための工夫がなされていない。
学	b175 筋緊張の機能	-	筋緊張機能の低下が、児童の理解を促すための工夫がなされていない。筋緊張機能の低下が、児童の理解を促すための工夫がなされていない。
学	b122 全般的な心理社会的機能	-	全般的な心理社会的機能の低下が、児童の理解を促すための工夫がなされていない。全般的な心理社会的機能の低下が、児童の理解を促すための工夫がなされていない。
学	b167 言語に関する精神機能	-	言語に関する精神機能の低下が、児童の理解を促すための工夫がなされていない。言語に関する精神機能の低下が、児童の理解を促すための工夫がなされていない。
学	b250 味覚	-	味覚機能の低下が、児童の理解を促すための工夫がなされていない。味覚機能の低下が、児童の理解を促すための工夫がなされていない。
学	b270 温度やその他の刺激に関する感覚機能	-	温度やその他の刺激に関する感覚機能の低下が、児童の理解を促すための工夫がなされていない。温度やその他の刺激に関する感覚機能の低下が、児童の理解を促すための工夫がなされていない。
学	b280 痛みの感覚	-	痛みの感覚機能の低下が、児童の理解を促すための工夫がなされていない。痛みの感覚機能の低下が、児童の理解を促すための工夫がなされていない。
学	b330 社会性(会話)の機能	-	社会性(会話)機能の低下が、児童の理解を促すための工夫がなされていない。社会性(会話)機能の低下が、児童の理解を促すための工夫がなされていない。
学	b780 視覚認知機能	-	視覚認知機能の低下が、児童の理解を促すための工夫がなされていない。視覚認知機能の低下が、児童の理解を促すための工夫がなされていない。
学	b163 運動・知覚機能	-	運動・知覚機能の低下が、児童の理解を促すための工夫がなされていない。運動・知覚機能の低下が、児童の理解を促すための工夫がなされていない。

評語	支援レベル	環境因子	心身機能・身体構造	合理的配慮
+	高い能力・権限(活用可能)			
0	完全に自立できている。			
-	部分的に自立できている。			
W	完全な困難			

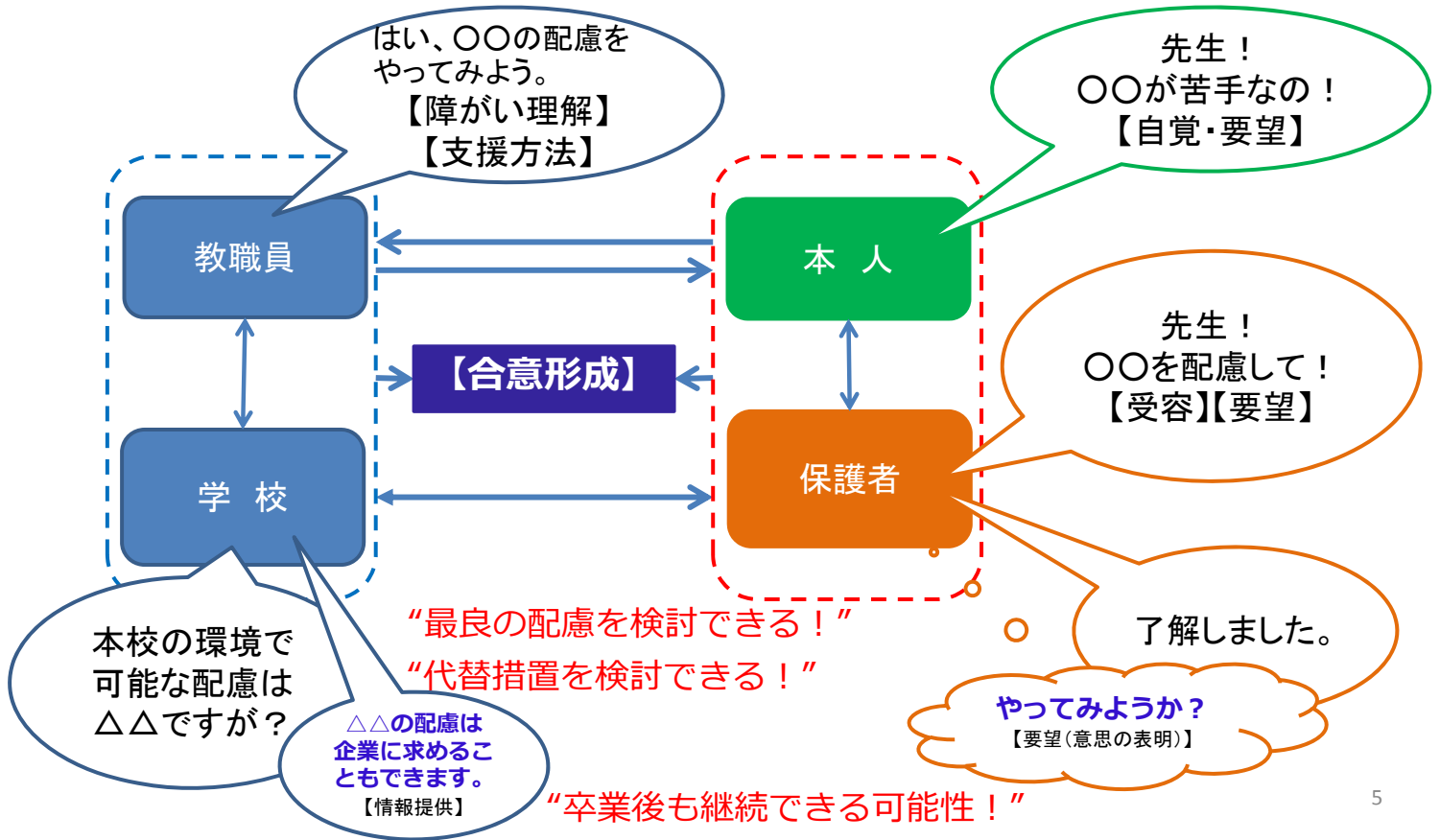
活動と参加	評語(達成度)	現在の状況(活動と参加)	合理的配慮
d140 読むこと	-	読むことのできる能力が低い。読むことのできる能力が低い。	大きな文字の教科書を使用する。(b164-e177, d230)
d145 書くこと	-	書くことのできる能力が低い。書くことのできる能力が低い。	書くことのできる能力が低い。書くことのできる能力が低い。
d150 計算の存在	-	計算の存在が低い。計算の存在が低い。	計算の存在が低い。計算の存在が低い。
d155 技術の習得	-	技術の習得が低い。技術の習得が低い。	技術の習得が低い。技術の習得が低い。
d177 意思決定	-	意思決定が低い。意思決定が低い。	意思決定が低い。意思決定が低い。
d230 日課の履行	-	日課の履行が低い。日課の履行が低い。	日課の履行が低い。日課の履行が低い。
d240 日常生活への参加	-	日常生活への参加が低い。日常生活への参加が低い。	日常生活への参加が低い。日常生活への参加が低い。
d310 話し言葉の理解	-	話し言葉の理解が低い。話し言葉の理解が低い。	話し言葉の理解が低い。話し言葉の理解が低い。
d325 書き言葉によるメッセージの理解	-	書き言葉によるメッセージの理解が低い。書き言葉によるメッセージの理解が低い。	書き言葉によるメッセージの理解が低い。書き言葉によるメッセージの理解が低い。
d345 書き言葉によるメッセージの理解	-	書き言葉によるメッセージの理解が低い。書き言葉によるメッセージの理解が低い。	書き言葉によるメッセージの理解が低い。書き言葉によるメッセージの理解が低い。
d350 会話	-	会話が低い。会話が低い。	会話が低い。会話が低い。
d415 姿勢の保持	-	姿勢の保持が低い。姿勢の保持が低い。	姿勢の保持が低い。姿勢の保持が低い。
d440 細かな手の使用	-	細かな手の使用が低い。細かな手の使用が低い。	細かな手の使用が低い。細かな手の使用が低い。

合理的配慮	実施内容(※)	実施内容(※)	合理的配慮
○	大きな文字の教科書を使用する。(b164-e177, d230)	大きな文字の教科書を使用する。(b164-e177, d230)	○
○	書くことのできる能力が低い。書くことのできる能力が低い。	書くことのできる能力が低い。書くことのできる能力が低い。	○
○	計算の存在が低い。計算の存在が低い。	計算の存在が低い。計算の存在が低い。	○
○	技術の習得が低い。技術の習得が低い。	技術の習得が低い。技術の習得が低い。	○
○	意思決定が低い。意思決定が低い。	意思決定が低い。意思決定が低い。	○
○	日課の履行が低い。日課の履行が低い。	日課の履行が低い。日課の履行が低い。	○
○	日常生活への参加が低い。日常生活への参加が低い。	日常生活への参加が低い。日常生活への参加が低い。	○
○	話し言葉の理解が低い。話し言葉の理解が低い。	話し言葉の理解が低い。話し言葉の理解が低い。	○
○	書き言葉によるメッセージの理解が低い。書き言葉によるメッセージの理解が低い。	書き言葉によるメッセージの理解が低い。書き言葉によるメッセージの理解が低い。	○
○	会話が低い。会話が低い。	会話が低い。会話が低い。	○
○	姿勢の保持が低い。姿勢の保持が低い。	姿勢の保持が低い。姿勢の保持が低い。	○
○	細かな手の使用が低い。細かな手の使用が低い。	細かな手の使用が低い。細かな手の使用が低い。	○

合理的配慮の合意形成Ⅰ（本人・保護者の意思の表明があった場合）

“子どもの特性が分かるので、
先生が素早く対応できる！”

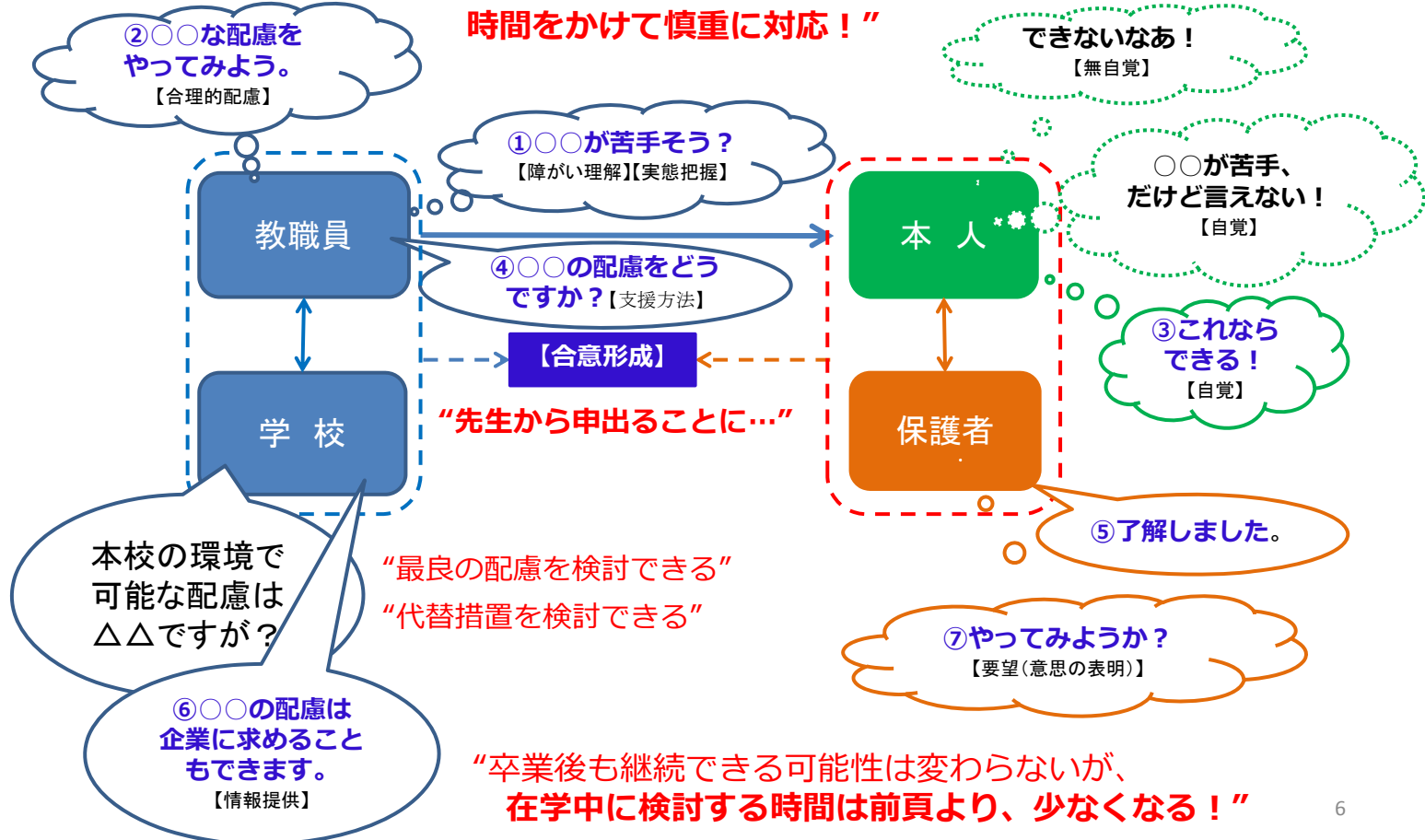
“意思の表明があると…”



合理的配慮の合意形成Ⅱ（本人・保護者の意思の表明がない場合）

“困りの把握、障がいの可能性、支援方法を手探りで…
時間をかけて慎重に対応！”

“意思の表明がないと…”



ICF:国際生活機能分類(大分モデル試案):「活動と参加」項目

第1レベル	カテゴリー	第2レベル		解説
1 学習と知識の応用	基礎的学習	d130	模倣	学習の基礎的な構成要素としての真似や物まね。例えば、ジェスチャー、音、アルファベットの文字の模倣。
		d140	読むことの学習	書かれたもの（点字を含む）を流暢で正確に読む能力を発達させること。例えば、文字やアルファベットを認識すること。単語を正しい発音で発音すること。単語や句を理解すること。
		d145	書くこと的能力	意味を伝えるために、音、単語、句を表す記号（点字を含む「シンボル」）を作る能力を発達させること。例えば、効果的に綴ること、正しい文法を用いること。
		d150	計算の学習	数を活用したり、単純もしくは複雑な数学的演算を行う能力を発達させること。例えば、加法や減法の数学的記号を用いること、問題に対し正しい数学的演算を適用すること。
		d155	技能の習得	技能の習得を開始し、遂行するために、統合された一連の行為や課題について、基本的あるいは複雑な能力を発達させること。例えば、道具を扱うこと、チェスなどのゲームで遊ぶこと。
2 一般的な課題と要求	知識の応用	d177	意思決定	選択肢の中からの選択、選択の実行、選択の効果の評価を行うこと。例えば、特定の品目を選んで、購入すること。なすべきいくつかの課題の中から1つの課題の遂行を決定したり、遂行すること。
	-	d230	日課の遂行	日々の手続きや義務に必要なことを、計画、管理、達成するために、単純な行為または複雑で調整された行為を遂行すること。例えば、1日を通してのさまざまな活動の時間を配分し、計画を立てること。
-	-	d240	ストレスとその他の心理的欲求への対処	責任重大で、ストレス、動揺、危機を伴うような課題の遂行に際して、心理的要求をうまく管理し、統制するために求められる、単純な行為または複雑で調整された行為を遂行すること。例えば、交通渋滞の中で乗り物を運転すること。多数の子どもの世話をすること。

7

ICF:国際生活機能分類(大分モデル試案):「活動と参加」項目

第1レベル	カテゴリー	第2レベル		解説
3 コミュニケーション	コミュニケーションの理解	d310	話し言葉の理解	話し言葉（音声言語）のメッセージに関して、字句通りの意味や言外の意味を理解すること。例えば、言明が事実を述べるものか、慣用表現かを理解すること。
		d325	書き言葉によるメッセージの理解	書き言葉（点字を含む）によって伝えられるメッセージに関して、字句通りの意味や言外の意味を理解すること。例えば、日刊新聞で政治的な出来事を理解したり、宗教の経典の内容を理解すること。
	コミュニケーションの表出	d345	書き言葉によるメッセージの表出	書き言葉を通して伝えられるメッセージの、字句通りの意味や言外の意味を生み出すこと。例えば、友人に手紙を書くこと。
	会話並びにコミュニケーション用具および技法の利用	d350	会話	話し言葉（音声言語）、書き言葉、記号、その他の方法の言語を用いて行われる、考えやアイデアの交換を開始し、持続し、終結すること。公的場面や日常生活の場面で、知り合いまたはよく知らない人と、1人または複数の人とで行われる。
4 運動・移動	姿勢の変換と保持	d415	姿勢の保持	仕事や授業で座ったままでいたり、立ったままでいる時のように、必要に応じて同じ姿勢を保つこと。
	物の運搬・移動・操作	d440	細かな手の使用	テーブルの上の硬貨を取り上げたり、ダイヤルや把手を回すのに必要な動きのように、手と手指を用いて、物を扱ったり、つまみあげたり、操作したり、放したりといった協調性のある行為を遂行すること。

8

ICF：国際生活機能分類(大分モデル試案)：「心身機能・身体構造」項目

第1レベル	カテゴリー	第2レベル		詳細分類と定義
1 精神機能	全般的な精神機能	b110	意識機能	周囲への意識性、明瞭性の状態に関する全般的な精神機能であり、覚醒状態の清明度と連続性を含む。
		b122	全般的な心理社会的機能	生涯を通じて発達する全般的な精神機能であり、意義と目的の両面で、社会的相互作用を確立する上で必要とされる、対人的技能の形成につながる精神機能を理解し、建設的な方向で統合するために必要とされる機能。
	全般的な精神機能	b126	気質と人格の機能	種々の状況に対してその人特有の手法で反応するような、個々人のもつ生来の素質に関する全般的な精神機能である。他人と区別するような一連の精神的な特徴を含む。
		b130	活力と欲動の機能	個別的なニーズと全体的な目標を首尾一貫して達成させるような、生理的および心理的機序としての全般的な精神機能。
		b134	睡眠機能	身体と精神を身近な環境から、周期的、可逆的かつ選択的に解放する全般的な精神機能で、特徴的な生理的変化を伴う。
	個別的な精神機能	b140	注意機能	所定の時間、外的刺激や内的経験に集中する個別的な精神機能。
		b152	情動機能	こころの過程における感情的要素に関連する個別的な精神機能。
		b163	基礎的認知機能	もの、できごと、経験に関する知識の獲得に関する精神機能、および、精神活動を必要とする課題における知識の組織化と応用。推論
		b164	高次認知機能	前頭葉に特に依存する個別的な精神機能であり、意思決定、抽象的思考、計画の立案と実行、精神的柔軟性、ある環境下でどのような行動が適切かを決定すること、などといった複雑な目標指向性行動を含む。しばしば実行機能とよばれる。
		b167	言語に関する精神機能	サイン（記号）やシンボル（象徴）、その他の言語要素を認識し、使用する個別的な精神機能。

9

ICF：国際生活機能分類(大分モデル試案)：「心身機能・身体構造」項目

第1レベル	カテゴリー	第2レベル		詳細分類と定義
2 感覚機能と痛み	視覚および関連機能	b210	視覚機能	光の存在を感じることに、視覚刺激の形態、大きさ、姿、色調を感じることに関する感覚機能。
		聴覚と前庭の機能	b230	聴覚機能
	b235		前庭機能	位置、バランス、運動に関する内耳の感覚機能
	その他の感覚機能		b250	味覚
		b255	臭覚	香りやにおいを感じる感覚機能。
		b260	固有受容覚	身体各部の相対的位置関係を感じる感覚機能。
		b265	触覚	表面およびその性状や質感を感じる感覚機能。
	痛み	b270	温度やその他の刺激に関連した感覚機能	温度、振動圧、侵害刺激を感じる感覚機能。
b280		痛みの感覚	身体部位の損傷やその可能性を示す、不愉快な感覚。	
3 音声と発語の機能	—	b330	音声言語（発話）の流暢性とリズムの機能	話し言葉（音声言語）の流れと速さを生む機能。
4 心血管系・血液系・免疫系・呼吸器系の機能	心血管系と呼吸器系の付加的機能と感覚	b455	運動耐容能	身体運動負荷に耐えるために必要な、呼吸や心血管系の能力に関する機能。
5 消化器系・代謝系・内分泌系の機能	消化器系に関連する機能	b510	摂食機能	固形物や液体を口から身体に取り入れ、処理する機能。
7 神経筋骨格と運動に関する機能	筋の機能	b735	筋緊張の機能	安静時の筋の緊張、および他動的に筋を動かそうとした場合に生じる抵抗に関する機能。
	運動機能	b780	筋と運動機能に関連した感覚	身体の筋や筋群およびその動きに関連した感覚。

10

ICF：国際生活機能分類(大分モデル試案)：「環境因子」項目

第1レベル	カテゴリー	第2レベル	詳細分類と定義
1 生産品と用具	-	e125 コミュニケーション用の生産品と用具	情報の伝達活動に用いる装置、生産品、用具。改造や特別設計がなされたものや、使用する人の体内に装着したり、身につけたり、身の回りで使うものを含む。
	-	e130 教育用の生産品と用具	知識や学識、技能の習得のために用いられる装置、生産品、工程、手法、用具。改造や特別設計がなされたものを含む。
3 支援と関係	-	e350 家畜・家禽	身体的、情緒的、心理的な支えとなる動物。例えば、ペット（イヌ、ネコ、トリ、サカナなど）、個人的な移動と交通のための動物。
	-	e360 その他の専門家	保健制度の枠外で動いているが、保健に関連したサービスを提供する、様々なサービスの提供者。例えば、ソーシャルワーカー、教員、建築家、デザイナー。
4 態度	-	e420 友人の態度	友人が、本人（評価される人）やその他の事柄（例：社会的、政治的、経済的な問題）についてのもつ、全般的なあるいは特定の意見や信念で、個々の行動や行為に影響を及ぼすもの。
	-	e425 知人・仲間・同僚・隣人・コミュニティの成因の態度	知人や仲間、同僚、隣人、コミュニティの成員が、本人（評価される人）やその他の事柄（例：社会的、政治的、経済的な問題）についてのもつ、全般的なあるいは特定の意見や信念で、個々の行動や行為に影響を及ぼすもの。

1、学習生活の困りの把握（変更、調整が必要な場面の特定）

医療 保健 保護者 本人 教職員 からの情報によるアセスメント

●：当面の課題となる因子、◎：強い因子、○：配慮により向上している因子

当面課題	活動と参加	評価点	効果点	現在の状況（活動時に生じる困難、生活場面に関わるときに経験する困難）
	d130 模倣			<p>各教科等の授業での参加・理解・習得の状況をICFの用語で困難部分に下線を引く。</p> <p>数を活用したり、単純もしくは複雑な数学的演算を行う能力を発達させること。例えば、加法や減法の数学的記号を用いること、問題に対し正しい数学的演算を適用すること。</p>
	d140 読むことの学習			
	d145 書くこと的能力			
	d150 計算の学習	-		選択肢の中からの選択、選択の実行、選択の効果の評価を行うこと。例えば、特定の品目を選んで、購入すること。なすべき いくつかの課題の中から1つの課題の遂行を決定したり、遂行すること。
	d155 技能の習得			日々の手続きや義務に必要なことを、計画、管理、達成するために、単純な行為または複雑で調整された行為を遂行すること。例えば、 1日を通してのさまざまな活動の時間を配分し、計画を立てること。
●	d177 意思決定	-		
●	d230 日課の遂行	-		
	d240 ストレスとその他の心理的欲求への対処			
●	d310 話し言葉の理解	-		話し言葉（音声言語）のメッセージに関して、 字句通りの意味や言外の意味を理解すること。 例えば、言明が事実を述べるものか、慣用表現かを理解すること。例えば、話し言葉のメッセージに反応することや、理解すること。
◎	d325 書き言葉によるメッセージの理解	+		書き言葉（点字を含む）によって 伝えられるメッセージに関して、字句通りの意味や言外の意味を理解すること。 例えば、日刊新聞で政治的な出来事を理解したり、宗教の経典の内容を理解すること。
	d345 書き言葉によるメッセージの表出			
	d350 会話			
	d415 姿勢の保持	-		
	d440 細かな手の使用			

+ 強い能力
 空欄 自立できている
 0 配慮により自立できている
 - 困りがある
 W 完全な困難

* 医師・保健師、保護者や子どもからの情報も参考にする。

・気になるものを見ると走り出す。
 ・言葉での説明を理解できない。
 ・書かれていることを速く理解する。

* ICFで分かりにくい表現や付加情報を記入

1、学習生活の困りの把握（本人・保護者の教育的ニーズの把握）

保護者 本人 福祉 医療 からの情報

学校名：〇〇立〇〇小学校 所属学級(学年)：自閉症・情緒障がい特別支援学級(第2学年)	診断名等 進路に関する希望 (高等学校進学ニーズ)
健康関連 状況 (診断の有無) ・自閉症 (検査結果や関連情報など) ・K-ABC (H25.3) 機能水準：75±8 継次処理：62±9、同時処理：98±9 認知処理：87±8、習得度：56±7	個人因子：ICFに分類されない個人の特別な背景 進路希望 (進学学校、希望する就労職種など) ・地域の中学校→県立高等学校(普通科)→居住地近隣の一般就労 特別な背景 (習慣、生育歴、社会的背景、教育歴など) ・厳格な家庭で育ち、否定的で差別的な振る舞いをする。 ・山村地域に居住し、片道約20kmを保護者の自家用車で通学している。 ・ 本人は、姿勢の保持への配慮(滑り止めシート)を拒んでいる。

各種検査から読み取れる認知処理の特徴

出生後からの育ちの環境

活動と参加に対する本人の考え方を記入する。

1、学習生活の困りの把握（障がいの状態の把握）

健康関連状況 (診断の有無) ・自閉症 (検査結果や関連情報) ・K-ABC (H25.3) 機能水準：75±8、 継次処理：62±9、 同時処理：98±9 認知処理：87±8、 習得度：56±7

*各種検査から読み取れる認知処理の特徴 (特に強い特性や、特に弱い特性) を右の表に書き込む。

複数の情報を空間的に統合して処理する能力 (同時処理)

情報を時間軸に沿って、順番に処理する能力 (継次処理)

KABC-II (多面的な認知)	WISC-IV (文脈依存な認知)	WISC-III (文脈依存な認知)	DN-CAS (独立した認知)
継次	ワーキングメモリ (WMI)	注意記憶 (VC)	継次処理
同時	知覚推理 (PRI)	知覚統合 (PO)	同時処理
計画	言語理解 (VCI)	言語理解 (VC)	プランニング
語彙	-	-	-
学習	-	-	-
算数	-	-	-
読み	-	-	-
-	処理速度	処理速度 (PS)	-
-	-	-	注意

1、学習生活の困りの把握（障がいの状態の把握）

医療

保健

からの情報によるアセスメント(保護者の了解を得る)

●：当面の課題となる因子、◎：強い因子、○：配慮により向上している因子

当面の課題	心身機能・身体構造	評価点	現在の状況（「活動と参加」を阻害する因子）		
1 健康の保持	b110 意識機能		+ 強い能力 空欄 自立できている 0 配慮により自立できている - 困りがある W 完全な困難		
	b130 活力と欲動の機能				
	b134 睡眠機能				
	● b140 注意機能	-		所定の時間、外的刺激や内的経験に集中する個別的精神機能。含まれるもの：注意の維持、注意の移動、注意の配分、注意の共有の機能。注意集中。 注意散漫（転導性）。	
	b455 運動耐容能				
	b510 摂食機能				
2 心理的安定	● b152 情動機能	-	こころの過程における感情的要素に関連する個別的精神機能。含まれるもの：情動の適切性、 情動の制御、情動の幅の機能 。感情。悲哀、幸福、愛情、恐れ、怒り、憎しみ、緊張、不安、喜び、悲しみ。 情動の不安定性。感情の平板化。	・外的刺激に過度に反応する。	
	● b164 高次認知機能	-	前頭葉に特に依存する個別的精神機能であり、意思決定、 抽象的思考 、計画の立案と実行、精神的柔軟性、ある環境下でどのような行動が適切かを決定すること、などといった複雑な目標指向性行動を含む。しばしば実行機能とよばれる。含まれるもの： 観念の抽象化と組織化の機能 。時間管理、洞察、判断。 概念形成 、カテゴリー化、認知の柔軟性。	・同時処理が強い。	
3 人間関係	b126 気質と人格の機能				
4 環境の把握	◎ b210 視覚機能	+	光の存在を感じることで、視覚刺激の形態、 大きさ、姿、色調を感じることに 関する 感覚機能 。含まれるもの：視力、視野、視覚の質に関する機能。光覚や色覚、遠景や近景に対する視力、単眼視力や両眼視力、画像的視覚の質に関する機能。機能障害の例としては、近視、遠視、乱視、半盲、色覚異常、視野狭窄、中心および周辺部の暗点、複視、夜盲、明順応。	・細かな形の違いに気づく。	
	b230 聴覚機能				
	b255 臭覚				
	b260 固有受容覚				
5 身体	b265 触覚	-	表面およびその性状や質感を感じる感覚機能。含まれるもの： 触れる、触れた感じの機能 。機能障害の例としては、しびれ感、触覚脱失、ひりひり感、触覚異常、触覚過敏。	・軽く触れても激痛に感じる。	
	b735 筋緊張の機能	-	安静時の筋の緊張、および他動的に筋を動かそうとした場合に生じる抵抗に関する機能。含まれるもの：個々の筋や筋群、一肢の筋、身体の片側の筋、下半身の筋、四肢の筋、体幹の筋、全身の筋の筋緊張に関連する機能。機能障害の例として、 筋緊張低下 、筋緊張亢進、筋痙縮。	・姿勢保持に苦痛が伴う。	
6 自立活動	b122 一般的な心理社会的機能				
	b167 言語に関する精神機能				

★自立活動の6区分で分類しているので、自立活動の指導内容検討にも活用できる。

1、学習生活の困りの把握（障がいの状態の把握）

保護者

本人

からの情報によるアセスメント

子どもから聞き取った情報

●：当面の課題となる因子、◎：強い因子、○：配慮により向上している因子

当面の課題	環境因子	評価点	変化後の評価	現在の状況（促進因子を含む、物的な環境や社会的環境）
●	e125 コミュニケーション用の生産品と用具	-		情報の伝達活動に用いる装置、 製品、用具。改造や特別設計がなされたもの や、使用する人の体内に装着したり、身につけたり、身の回りで使うものを含む。
	e130 教育用の生産品と用具			知識や学識、技能の習得のために用いられる装置、製品、工程、手法、用具。改造や特別設計がなされたものを含む。
	e350 家畜・家禽			身体的、情緒的、心理的な支えとなる動物。例えば、ペット（イヌ、ネコ、トリ、サカナなど）、個人的な移動と交通のための動物。
	e360 その他の専門職			保健制度の枠外で動いているが、保健に関連したサービスを提供する、さまざまなサービスの提供者。例えば、ソーシャルワーカー、教員、建築家、デザイナー。
	e420 友人の態度			保健制度の枠外で動いているが、保健に関連したサービスを提供する、さまざまなサービスの提供者。例えば、ソーシャルワーカー、教員、建築家、デザイナー。
○	e425 知人・仲間・同僚・隣人・コミュニティの成因の態度	-	0	知人や仲間、同僚、隣人、コミュニティの成員が、本人（評価される人）やその他の事柄（例：社会的、政治的、経済的な問題）について持つ、一般的なあるいは 特定の意見や信念で、個々の行動や行為に影響を及ぼすもの 。

・クッションでは痛みが生じた。

・障がいであることを保護者が認識しないため、対応不能。

+ 強い能力
空欄 自立できている
0 配慮により自立できている
- 困りがある
W 完全な困難

コーディネーターとの面談により理解した。

保護者から聞き取った情報

2、障がいの状態に応じて必要な変更・調整の選択

当面課題	環境因子	評価	配慮後の評価	阻害要因 促進要因
●	e125コミュニケーション用の	-		クッションで痛み
○	e425知人コミュニケーションの	-	0	障がいを未公表

健康関連状況	個人因子
(診断の有無) ・自閉症	(進路希望) 中学校→ 高等学校(普通科) →一般就労
(検査結果や関連情報) ・K-ABC (H25.3) 機能水準: 75±8、 継次処理: 62±9、同時処理: 98±9、認知 処理: 87±8、習得度: 56±7	(特別な背景) ・厳格な家庭で育ち、否定的で差別的な振る舞い ・片道約20kmを保護者の自家用車で通学 ・保育所や幼稚園での教育歴はない。

④教育的ニーズ

自立活動の観点	課題	心身機能 身体構造	評価	現在の状況 (阻害要因)
1 健康の保持	●	b140注意機能 b455運動耐容能	-	注意散漫
2 心理的安定	●	b152情動機能 b164高次認知機能	-	外的刺激に過反応 概念形成困難、同時処理が得意
3 人間関係				
4 環境の把握		b210視覚機能 b265触覚	+	細かな形の違いに気づく 軽く触れても激痛
5 身体		b735筋緊張機能	-	姿勢保持に苦痛が伴う。
6 コミュニケーション				
7 その他		b330発話の流暢性	-	独特のリズム

②障がい特性

当面課題	活動と参加	評価	効果	現在の状況
	d145書くこと的能力			
	d150計算の学習	-		複雑な数学的演算が困難
	d177意思決定	-		選択肢の中からの選択が困難
	d230日課の遂行	-		活動の時間配分や計画を立てる困難
●	d310話し言葉の理解	-		話し言葉の意味を理解することが困難
◎	d325書き言葉の理解	+		
	d345書き言葉の表出			言外の意味を生み出すことが困難
	d415姿勢の保持	-		必要に応じて同じ姿勢を保つことが困難で、離席多い。
	d440細かな手の使用			

①活動と参加の状況

- 話し言葉(音)の理解という「活動と参加」を向上させるために、
- 『概念形成が困難で、同時処理が得意』な障がい特性を活用し、
- 『音と言葉を結びつけてから、意味づけをする。』合理的配慮を提供することで、
- 子どもの高等学校進学(教育的ニーズ)の実現を目指す。

③合理的配慮

観点	学校における合理的配慮の観点	実施内容(◎:既に実行・記載中 ○:今後常時実施 △:必要に応じて実施 -:不用な配慮 ×:未実施)
教育内容	①-1-1 学習上又は生活上の困難を克服するための配慮	音と言葉を結びつけてから、意味づけをする指導を行う。(b164→d310)

4、本人・保護者、学校、設置者の合意形成

○:実施、△:必要に応じて実施、-:不用な配慮、×:未実施

観点	学校における合理的配慮の観点	実施内容(●:新たな合理的配慮、☆:すでに実施中の合理的配慮)	特別な場	通常学級	個別的教育支援計画	個別の指導計画
教育内容	①-1-1 学習上又は生活上の困難を改善・克服するための配慮	● 音と言葉を結びつけてから、意味づけをする指導を行う。(b164→d310)	-	△	○	○
	①-1-2 学習内容の変更・調整					
教育方法	①-2-1 情報・コミュニケーション及び教材の配慮	● 指示をシンボルマークにより行う。(b164→d230)	○	○	○	○
	①-2-2 学習機会や体験の確保	★提案するが実施を拒否している合理的配慮や、過去に実施したが子どもの成長により中止した合理的配慮も記載しておく、今後の指導や過去の実績記録として活用できる。				
	①-2-3 心理面・健康面の配慮					
支援体制	②-1 専門性のある指導体制の整備					
	②-2 幼児児童生徒、教職員、保護者、地域の理解啓発を図るための配慮					
	②-3 災害時等の支援体制の整備					
施設整備	③-1 校内環境のバリアフリー化	● 座面に滑り止めマットを使用する。(b735→e125,d415)	×	×		
	③-2 発達、障害の状態及び特性等に応じた指導ができる施設・設備の配慮					
	③-3 災害時等への対応に必要な施設・設備の配慮					

★心身機能 (b735:筋緊張の機能) をターゲットに、「座面に滑り止めマットを使用する」合理的配慮により、痛みを感じていた環境因子 (e125:コミュニケーション用の生製品と用具) が改善し、活動と参加 (d415:姿勢の保持) の向上が期待できるが、本人・保護者が希望していないため、実施していない合理的配慮。

作成者氏名 ○○ ○○

所属・職 ○○小学校、教諭（学級担任）

作成年月日 H28. 6. ○○

保護者 ○○ ○○ 印

基本情報1		基本情報2		基本情報3		長期目標（卒業時）
氏名	○○ ○○	診断名	自閉症	好きなもの・もの	読書（科学分野）	交流学級での学習参加と理解・習得
所属学校	○○立○○中学校（第1学年）	主治医	○○ ○○	本人の要望	高等学校（普通科）→一般就労	
所属学級	自閉症・情緒障がい特別支援学級	機関名	○○発達総合医療センター	保護者の要望	高等学校（普通科）→大学、一般就労	短期目標（1年時）
住所	○○市町村○○ ○○番地	連絡先	○○○-○○○-○○○○	学校の要望	高等学校（普通科）→一般就労	交流学級での学習参加
緊急連絡先	○○○-○○○-○○○○	手帳の有無	なし	就労希望職種等	一般事務	

心身機能・身体構造・環境因子の状況		活動と参加の状況		合理的配慮（○：実施、△：必要に応じて、-不要、×未実施）	
1,健康の保持	注意散漫（転導性）	模倣		教育内容	学習上又は生活上の困難の改善・克服 △音と言葉を結びつけてから、意味づけをする指導を行う。
2,心理的安定	外的刺激に過度に反応 概念形成困難 同時処理が得意	読むことの学習			
3,人間関係		書くことの能力		教育方法	情報・コミュニケーション及び教材の配慮 ○指示はシンボルマークにより行い、教材を読む時間を確保する。
4,環境の把握	細かな形の違いに気づく。 軽く触れても激痛に感じる。	計算の学習	複雑な数学的演算、問題に対して正しい数学的演算の摘要が困難。		
5,身体	姿勢保持に苦痛が伴う。	技能の習得		支援体制	専門性のある指導体制の整備 理解啓発を図るための配慮 災害時等の支援体制の整備
6,コミュニケーション		意思決定	課題の遂行を決定したり、遂行することが困難。		
その他	発話のリズムが独特	日課の遂行	活動の時間を配分し、計画を立てることが困難。	施設整備	校内環境のバリアフリー化 ×座面に滑り止めマットを使用する。
		ストレスとその他の心理的欲求への対応			
		話し言葉の理解	話し言葉に関して、字句通りの意味や言外の意味を理解することが困難。		
		書き言葉によるメッセージの理解	書き言葉を理解することが速い。		
		書き言葉によるメッセージの表出			
		会話			
		姿勢の保持	離席が多い。		
		細かい手の使用			

医療的支援	福祉的支援	労働（就労）等 その他の支援
○○発達総合医療センターのOTによる治療（週1回） ○○発達総合医療センターのSTによる治療（週1回） ○○発達総合医療センターの薬物療法（月1回）	○○支援センター「○○」の行動援護（年5回） NPO法人「○○」の行動援護（月2回） 支援事業所○○によるホームヘルプ（週1回）	○○発達支援センターの相談（3月に1回） 自宅でのお手伝い実施 ○○支援学校地域支援部の教育相談（1回/3月）

氏名 ○○ ○○

作成支援者氏名（所属） ○○ ○○（○○市保健師）

作成年月日 H28.6.○○

特別支援教育コーディネーター氏名 ○○ ○○

作成年月日 H28.6.○○

	サービス名 （サービスの内容）	機関・施設名	利用の程度	連絡等の必要
医療	○ 治療（作業療法：OT）	○○発達総合医療センター	1回/週	なし
	○ 治療（言語聴覚療法：ST）	○○発達総合医療センター	1回/週	なし
	○ 治療（てんかん発作の薬物療法）	○○発達総合医療センター	1回/月	なし
福祉	○ 行動援護（子ども会行事参加のための送迎・付き添い）	○○支援センター「○○」	5回/年	あり
	○ 行動援護（図書館への送迎・付き添い）	NPO法人「○○」	2回/月	あり
	○ ホームヘルプ（夕食準備時の遊び相手又は準備の代替）	支援事業所○○	1回/週	あり
教育	○ 教育相談（パニック時のクールダウンの方法）	○○特別支援学校の巡回相談	1回/3月	あり
その他又は労働	〔その他〕 ○ 相談（療育のアドバイス）	○○発達支援センター	1回/3月	あり
	〔労働関係〕 ○ お手伝い体験	自宅実施	1回/日	あり



連絡等の実施	連絡等の実施終了日	サービス利用	教育課程の変更点
不要 不要 不要			体育, P20 国語, P24 自立活動, P15
○ ○ ○	○月○日 ○月○日 ○月○日	○ ○ 利用せず	
○	○月○日	○	自立活動, P15
○	○月○日	○	自立活動, P15
不要			

項目	内容	1学年	2学年	3学年	4学年	5学年	6学年	
在籍形態	(小中) 通級による指導							
	(小中) 特別支援学級（自閉症・情緒障がい）		○					
	(特支) 単一障がい学級, 重複障がい学級							
教育課程の状態	通常の教育課程	修正なし						
		通級による指導						
		個別の学習課題・宿題の用意	○	○				
		授業中の特別な留意	○	○				
		合理的配慮の申請・利用		○				
	一部修正及び学教法特例	自立活動の特設		○				
		下学年代替の利用		○				
		知的障がい特別支援学校の各教科（生活科）						
		知的障がい特別支援学校の各教科（国語科）						
		知的障がい特別支援学校の各教科（算数科）						
		知的障がい特別支援学校の各教科（社会科）						
		知的障がい特別支援学校の各教科（理科）						
		知的障がい特別支援学校の各教科（職業・家庭）						
		各教科等をあわせた指導（遊びの指導）						
		各教科等をあわせた指導（日常生活の指導）						
		各教科等をあわせた指導（生活単元学習）						
		各教科等をあわせた指導（作業学習）						
		重複障がい者等に関する特例	-	-	-	-	-	-
各教科・科目の取り扱い								
訪問教育								

項目	内容	1学年	2学年	3学年	4学年	5学年	6学年
複数指導	T.Tの導入						
	特別支援教育支援員の補助						
進路支援	担当以外の教職員や介助員等の補助		○				
	産業現場等における就労体験（実習）						
教科書	職業適性検査の手続き						
	文部科学省著作教科書の利用		○	○			
学教法附則第9条教科書の利用	居住地校交流						
	学校間交流						
交流及び共同学習	地域交流						
	通常の学級			○			
特別支援教育就学奨励費	特別支援教育就学奨励費の受給		○				
給食	きざみ食・ペースト食の準備（その他）						
通学	スクールバスの利用（その他）						
医療的ケア	看護師の配置+（その他）						
特に活用している教材・教具	タブレット端末			○			
	滑り止めマット			○			
サービス利用支援	個別の教育支援計画の作成+その他（）			○			
その他、又は外部専門家による支援	○〇発達総合医療センター（OT）			○	○		
	○〇発達総合医療センター（ST）			○	○		
	○〇特別支援学校コーディネーター			○			

個別の指導計画（合理的配慮計画）：記入例

作成機関	〇〇立	〇〇〇	作成時学年（組）	1年	〇組	知的障がい特別支援学級
作成者氏名・職	〇〇〇〇・特別支援学級担任		児童生徒氏名	〇〇〇〇		
作成年月日	平成〇〇年〇〇月〇〇日					

	困難の領域	場面	配慮の観点等	合理的配慮の内容	担当者	必要な教材等	頻度	実施の有無
学習（教科の授業）	意思決定 日課の遂行	全教室	自力で、課題を遂行する。	・指示をする際はシンボルマークを使用する。	・全授業者	シンボルマーク	毎時間	検討中・実施中・実施済 実施期間（中1.5月～2月）
	話し言葉の理解	交流学級（通常の学級）	同時処理を活かした概念形成	・音と言葉を結びつけてから、意味づけする指導を行う。	・特別支援学級担任	なし	必要に応じて	検討中・実施中・実施済 実施期間（中1.5月～）
	姿勢の保持	全教室	同じ姿勢で、学習参加する。	・座面に滑り止めマットを使用する。	・全授業者	滑り止めマット	毎時間	検討中・実施中・実施済 実施期間（）
（休みの時間等） （社会的関係）	仲間の態度	全教室	障がいの理解	・なるべく触らないように配慮する。	・全授業者	なし	必要に応じて	検討中・実施中・実施済 実施期間（）
								検討中・実施中・実施済 実施期間（）
（集団生活） （学校生活）	意思決定 日課の遂行	全教室	自力で、課題を遂行する。	・指示をする際はシンボルマークを使用する。	・全授業者	シンボルマーク	毎時間	検討中・実施中・実施済 実施期間（中1.5月～）
								検討中・実施中・実施済 実施期間（）
基本的 生活								検討中・実施中・実施済 実施期間（）
								検討中・実施中・実施済 実施期間（）